

平成20年5月14日(水)
愛知県農林水産部 水産課
環境・栽培グループ
内線 3791・3792
ダイヤルイン 052-954-6461

コイヘルペスウイルス病の発生について

平成20年5月12日、豊田市の養殖業者の池のコイから、
コイヘルペスウイルス病のウイルスが検出されました。

1 発生の状況

- 平成20年5月2日、輸出錦鯉衛生証明書発行ガイドラインに基づき、コイヘルペスウイルス病検査を（社）日本水産資源保護協会に依頼したところ、一部の池についてコイヘルペスウイルス病陽性が確認されました。
- 平成20年5月12日、独立行政法人水産総合研究センター養殖研究所の確定診断によりコイヘルペスウイルス病陽性が確認されました。

2 対応

- 当該コイ所有者に対し、コイの処分及び移動自粛を要請しています。
- 河川へのまん延防止のため、排水の停止や消毒処理などを指導しています。
- 適宜現場の確認及び指導を実施します。

資 料 提 供	
平成20年5月13日	
担当課 (担当者)	水産課 (中谷)
電話(内線)	7680

コイのコイヘルペスウイルス(KHV) 病の確定診断結果について

境港市の養殖場及び伯耆町の個人池で発見された死亡ゴイ(5月10日に一次検査結果を資料提供済)について確定診断を実施した結果、下記のとおりKHV病と診断されました。

記

1 検査結果

発見場所	境港市の養殖業者	伯耆町の民家
死亡ゴイの発生報告日	5月8日(木)	5月9日(金)
死亡ゴイの数	20匹(累計約300匹)	約10匹
排水経路	地下水を取水し、循環利用し、一部を水路から境水道へ排水	地下水を取水し、循環利用し、一部を水路から野本川・佐蛇川水系へ排水
検査結果	1 一次検査	
	検査機関	鳥取県栽培漁業センター
	確定日	5月8日(木) / 5月10日(土)
	検査結果	10匹中10匹 陽性 / 5匹中4匹 陽性
検査結果	2 確定診断	
	検査機関	独立行政法人水産総合研究センター養殖研究所 (三重県度会郡南伊勢町)
	確定日	5月13日(火)
	検査結果	4匹中4匹 陽性 / 4匹中4匹 陽性

2 所有者の対応

(1) コイの処分

- ア 伯耆町の個人池(4水槽)は、5月11日(日)に、感染の確認された3水槽のコイ(約200匹)を自主処分済
- イ 境港市の養殖場(12水槽)は、5月13日(火)に、感染の確認された5水槽のコイ(約1000~1500匹)を自主処分済

(2) 講じたまん延防止措置

- ア 飼育池の水の排水停止
- イ 飼育中のコイの移動の自粛

3 県の対応

- (1) 周辺市町村を通じ、異常ゴイを発見した時の県への連絡を周知
- (2) 感染経路の調査と境港市の養殖業者が行ったオークション(品評会)でコイを購入した者のコイの感染調査の実施
- (3) 感染魚の自主処分の確認・援助

(参考)

- 確定診断で陽性になったのは今年度はじめて。
- KHVは、マゴイ、ニシキゴイなどコイだけにかかる病気。人にうつらないので、仮に感染魚を食べても影響はない。
- 水温18~25度での発症が顕著なので、飼育水温がこの温度となる時期には注意が必要。